

◇各教科等の授業改善に向けた具体的な方策

【音楽】

<p>■生徒の状況</p>	<p>(1) 新型コロナウイルス予防のため歌唱以外の授業が多くなってしまっているが、音楽を聴くことに楽しさを見出し、授業のめあてに向かって主体的に取り組むことができている。</p> <p>(2) 既習事項である基礎的な楽典に関する知識がまだ完全に身につけておらず、振り返り学習が必要なところが随所見受けられる。</p> <p>(3) 和楽器「箏」の魅力に触れ、伝統的な演奏方法に興味を示し自ら率先して体験することによって知識や技能を習得しようとしている。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>(1) 授業のわかりやすさや効率化を図るために、ICTを活用した指導を構築していく。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス予防に努めながら、歌唱の授業に適した環境作りを行い可能な範囲で歌唱を取り入れていき、声を使った表現の豊かさを授業で伝えていけるようにする。</p> <p>(3) 創作の授業において、生徒が自身のアイデアを思い描いたとおりに表現できるよう、適した指導や声かけを行えるように教材研究と想定される生徒の質問等の準備を行う。</p>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>1 基礎学力の定着</p> <p>(1) 小学生の頃から積み重ねて勉強している基礎的な楽典の知識を繰り返し学習することで、基礎学力の定着に努める。</p> <p>(2) 音楽の基礎である表現力の向上を目指して、生徒が自分自身の思いを臆することなく表現し伝えられるように、感想文としての紙面上の解答や楽器演奏等の授業を多く実施していき、表現活動をする機会を多く授業に取り入れていく。</p> <p>2 1を支える家庭学習の推進</p> <p>(1) 授業の中で練習するとき他の生徒が気になって恥ずかしいなど、表現が苦手な生徒が課程でも練習できるように、全校生徒に配布しているクロームブックに音源を配信している。このことにより、事前に練習することで自信を持って表現できるようになり、他の生徒の前でも表現ができるように段階を経て取り組ませていく。</p> <p>3 授業における思考力・判断力・表現力の育成</p> <p>(1) 学習している題材に対して自分がどのように考えているかを、感想文として毎回書き出せるようにワークシートを工夫している。</p> <p>(2) 学習している題材と次に学ぶ題材のつながりに重きを置き、学んだ思考力・判断力・表現力が次に生かされる授業を展開している。</p> <p>(3) 表現を伴う題材では、実技試験等の表現力を使う課題を出し、知識や技術の総集活動を通して振り返り活動を行い、表現力をより身につけられるようにしている。</p> <p>4 3を自ら伸ばしていくための主体性の育成</p> <p>(1) ワークシートを活用した授業では、設問毎に問題の意味がわかるように口頭でサポートを行い、生徒が自ら課題の達成にたどり着けるように後押ししている。</p> <p>(2) 学習している題材と他の題材がどのようにつながっているか理解できるように、既習した重要な単語をつかって指導するように心がけている。</p> <p>(3) 表現力を身につけるために行う実技試験では、試験の前に必ず評価されるポイントについて説明を行い、それに対して生徒が自ら考え工夫しながら望めるような環境作りを設定している。</p> <p>5 ICT機器を活用した授業実践例</p> <p>(1) ワークシートの解説時に PowerPoint を活用している。楽器の絵や図を交えながら説明することにより多角的な指導ができるように工夫している。</p> <p>(2) 鑑賞教材を鮮明に生徒へ届けるために、音楽室に設置されている音響設備を活用している。</p> <p>(3) 学習用の音源を、生徒ひとり一台配布しているクロームブックに向けて配信し、家庭学習の場でも生かされるようにしている。</p> <p>6 小中一貫</p> <p>(1) 音楽科として志村小学校と交流を図り、合唱行事や吹奏楽の演奏映像と小学校での取り組み内容を交換して交流を図っている。</p>